

2010 アジア鑄造技術史学会 出雲大会 日程

平成 22 年 8 月 28 日～ 29 日

会場：島根県立古代出雲歴史博物館・講義室

研究発表スケジュール(口頭発表 17 本・ポスター発表 5 本)

1 日目：8 月 28 日(土)

12:30-13:00 研究発表(ポスター解説)

P-1 廣川守、樋口隆康、今津節生、鳥越俊行、河野一隆、市元墨、輪田慧

「X 線 CT スキャナを利用した中国殷周青銅器の内部構造解析」

P-2 吉田広、岩永省三、松本岩雄、足立克己

『出雲神庭荒神谷遺跡』における銅剣同範関係の認定」

P-3 丹羽崇史

「奈良時代における湾曲羽口の再検討」

P-4 長柄毅一、Vasant Shinde、清水康二、青柳 泰介、李相龍、三船温尚

「インド・マフルジャリ (Mahurjhari) 遺跡出土の 銅鏡について」

P-5 ペルトネン純子

「錫青銅の熱間による打ち延べ」

13:20-17:00 研究発表(口頭1)

13:20 1-1 高橋進一、平野芳英

「日本出土の古代鑄造ガラス製品について—製作技術の復元的研究を中心として—」

13:50 1-2 平野芳英

「三角縁神獸鏡の同範調査例について」

14:20 1-3 持田大輔、長柄毅一、澤田秀実

「6-7 世紀における青銅容器の生産体制 (予察)」

14:50 1-4 田賀井篤平、白雲翔、三船温尚、韓偉東、清水康二、三河内岳、杉山和正

「鏡範面の金属鑄込みに伴う皮殻形成の研究その 4 塗型材の分析」

15:20 1-5 関廣尚世

「メロエ遺跡の鑄造技術とスーダン共和国における文化財保護の現状と課題」

15:50 1-6 羽田康一

「「リアーチェの戦士 AB」と「ポルティチェッロの頭部 AB」の現物調査—中間報告」

16:20 1-7 パスクァーレ・ダポルト、羽田康一

「「リアーチェのブロンズ」—合金分析・ガンマ線、直接法・間接法—」

2日目：8月29日(日)

9:00-12:00 研究発表(口頭2) 荒神谷青銅器特集

9:00 2-1 岡崎俊子

「おもに神庭荒神谷1号鐸の石型製作と鑄造実験について」

9:30 2-2 三船温尚、増田浩太、清水康二、吉田広、劉治国、長柄毅一、阿部裕之、遠藤透

「出雲荒神谷遺跡出土銅劍 B62 の鑄バリ研究」

10:00 2-3 増田浩太

「荒神谷銅矛の研磨技術について」

10:30 2-4 吉田広、岩永省三、柳浦俊一

「『青銅器の同范関係調査報告書Ⅰ－武器形青銅器－』の調査成果」

11:00 2-5 劉治国

「荒神谷遺跡出土青銅器の鑄造技術－その(1)土器質鑄型外枠による銅劍の復元鑄造実験」

2:40-13:30 研究発表(ポスター解説)

13:30-16:40 研究発表(口頭3)

13:30 3-1 北井利幸

「八ツ手葉形銅製品の検討」

14:00 3-2 李清圭

「最近に調査された完州地域の青銅器副葬墓」

14:40 3-3 鈴木瑞穂

「黒崎鑄銭場における馬白目(鉛製鍊スパイス)の利用について」

15:10 3-4 吉田晶子

「京都長谷川亀右衛門家の臘型法における鑄型造型」

15:40 3-5 杉本和江、坂東俊彦

「奉寄進南部東大寺－江戸期東大寺大仏殿の金工品に見る作善行為」

16:10 閉会